

前回定例会以降の動き

柏崎市危機管理部 防災・原子力課

1 安全協定に基づく状況確認【9月10日】

新潟県、刈羽村とともに、発電所の月例の状況確認を実施しました。

[主な確認内容]

- ・7号機の健全性確認作業のうち、④格納容器点検、⑤主タービン起動、⑥発電機仮並列、⑦発電機本並列について操作手順や作業の目的について説明を受けました。
- ・使用済燃料の輸送作業について概要説明を受けるとともに、キャスク保管建屋の現場確認を行いました。

2 第18回柏崎刈羽地域原子力防災協議会作業部会【9月13日】

柏崎刈羽地域の緊急時対応(案)の進捗状況等について議論が行われました。

3 国際原子力機関(IAEA)総会【9月18日】

オーストリア共和国・ウィーンで開催された2024年国際原子力機関(IAEA)総会のサイドイベントに柏崎市長が全国原子力発電所所在市町村協議会(全原協)の代表として出席しました。

以上

令和6年度新潟県原子力防災訓練(個別訓練) 航空機・船舶避難訓練

令和6(2024)年10月2日
柏崎市 危機管理部 防災・原子力課

航空機・船舶避難訓練 概要

1 目的

PAZ内で孤立地域が発生した場合における航空機（ヘリコプター）及び船舶を使用した住民避難について、実動組織(自衛隊、第九管区海上保安本部)による避難支援の手順確認と連携の向上を図る。

2 日時 令和6(2024)年8月24日（土）7:40～13:35

3 訓練会場・参加人数・訓練内容等

行程	①航空機・船舶避難訓練					②船舶避難訓練	
会場	荒浜コミセン	松波コミセン	鯖石川改修記念公園	柏崎港	直江津港	高浜漁港	寺泊港
時間	7:40～8:00	8:00～9:00	8:00～10:00	8:45～10:30	13:00～13:15	11:15～11:55	12:55～13:35
参加機関 人数	8機関 160人		新潟県、柏崎市、陸上自衛隊、海上自衛隊、第九管区海上保安本部、柏崎消防本部、柏崎交通株式会社、頸城自動車株式会社				
参加人数	【住民（市内公募）】40名					【柏崎市職員（住民役）】5名	
訓練内容	模擬マイナンバーカードを使用した受付、陸上自衛隊高機動車による住民移送訓練	陸上自衛隊航空機(UH60JA)による孤立地域からの住民避難訓練	海上自衛隊「多用途支援艦ひうち」による孤立地域からの住民避難訓練	第九管区海上保安本部「巡視船やひこ」と搭載艇による孤立地域からの住民避難訓練			

訓練ポイント	①空路（航空機）と海路（船舶）が連動した住民避難訓練 ②模擬マイナンバーカードを活用した受付システムによる情報の一元化【市独自訓練】 ③衛星回線（Starlink）を活用した本部との通信訓練【市独自訓練】 ④陸上自衛隊高機動車による住民移送訓練【市独自訓練】 ⑤搭載艇の引き上げ方法（巡視船クレーンでの引き上げ）の検証（高浜漁港）
--------	---

1 成果

- ・ 訓練参加者を全市から公募したことで幅広い年齢層から多数の応募があり、原子力防災訓練に興味を持つ住民が一定数いることが確認できた。
- ・ 模擬マイナンバーカードを活用した受付は、一人当たり3～5秒程度で受付が完了するため、従来の紙による受付と比べて、受付の効率化が図られることが確認できた。
- ・ 受付システムをオンラインで災害対策本部及び他拠点と接続することにより、リアルタイムでの避難者の避難状況や避難者数を把握することができ、実災害時の避難者情報の収集、災害対策本部での情報一元化に効果的であることが確認できた。
- ・ 衛星回線での通信については、大きなタイムラグはなく、映像による現地の状況把握もでき、実災害時における通信回線の多重化の有効性が確認できた。

2 課題

- ・ 今後も様々な年代、特に若年層、中年層の多くの住民が参加できる訓練の内容・参加方法を検討していく。
- ・ マイナンバーカードを活用した避難者の受付システムの導入の可能性を引き続き検討していく。

4

その他の訓練の様子



安定ヨウ素剤の緊急配布訓練の様子
(松波コミュニティセンター)



高機動車による住民移送訓練の様子
(松波コミュニティセンター)



市職員による住民誘導の様子
(鯖石川改修記念公園)



洋上で搭載艇から巡視船に乗り移る様子
(高浜漁港 沖合)

5